



2016-17年度
国際ロータリー会長
ジョン F. ジャーム

Weekly Report Niigata



2016-17 年度
国際ロータリーのテーマ



2016～17 年度
新潟ロータリークラブ会長
宇尾野 隆

新潟 RC1月第 4 例会 (2017.1.31) No.3168

(1) ロータリーソング「それでこそロータリー」斉唱

(2) 宇尾野 隆会長挨拶

アーサー・フレデリック・シェルドン

本日は、ロータリーの第2標語「He profits most who serves best」＝最もよく奉仕するもの、最もよく報われる」を考案したアーサー・フレデリック・シェルドンのお話をしたいと思います。

1908年、シカゴ RC にロータリーの歴史に残る2人が入会してまいりました。

1人は、以前ご紹介したチェスリー R・ペリー、後に、国際ロータリー事務総長を32年間、務めた人物です。もう1人がシェルドンであります。

シェルドンはミシガン州の出身で、ミシガン大学商学部を卒業後シカゴに出て出版社のセールスマンとなりました。

当時のシカゴは、実業に携わる者は利益を追求するのに手段を選ばず、仮借ない搾取や犯罪行為が横行して、商道徳は地に堕ちた暗黒の時代でした。

しかし、物質的な利益よりも名誉を重んじたシェルドンは、雇い主の期待するセールスマン像には納得せず、辞職をします。

その後、このような「売らんかな方式」の商法ではなく、科学的な商品販売の理論と技術を商人たちに素養として教える学校が必要であると考え、1902年「シェルドン式販売学専門学校」を設立し、大いに繁盛しました。

1908年シカゴロータリークラブに入会したシェルドンは、当時の背景の中で一体、ロータリークラブの存在意義はどこにあるかという疑問を持つようになりました。そして、商いの世界の頹廃した中であっても、公明正大な経営方針を堅持している商人が結局成功している事実を発見して、その理由を探究した結果、「他人の立場を考え、他人の為になるように尽くすこと」、即ち「サービス＝Service」の精神に従って行動する者こそ成功するのだという結論に達し、このサービスの考え方こそロータリーの存在理由であると考えました。

1908年のある晩、ミネアポリスの理髪店から外に出た時、「He profits most who serves his fellow best」(仲間に最も良く奉仕するものは、最も多く報いられる)という表現を思いついたそうであります。

1910年第1回の全米ロータリークラブ連合大会がシカゴで開催され、その晩餐会の席上でシェルドンは、実業人には道徳心が必要であるとの演説を行ない、その中で初めてこの表現を発表しました。

翌1911年のポートランドの全米ロータリー連合大会で、この彼の新しいロータリーの理想について発表の準備を進めていましたが、余儀ない事情で、出席できなくなり、演説原稿を大会に送り、代読されました。

その内容は、「商売には科学があり、それはサービスの科学である。そして、このサービスの科学とは、「最善のサービスを行なう者には、最大の利益がある＝He profits most who serves best」であるとして、前年の表現から、仲間＝His Fellows の限定句を削り、完全に一般化した表現に改められていました。

この提言は、大会出席者の万雷の喝采によって大会決議として承認されました。

そして、この決議の後、前にお話させていただきました、ベンジャミン・フランクリン・コリンズの「service not self」も採択されました。

この大会で、現在の2大標語が決まった、ロータリーにとって歴史的な大会であったわけであります。

本日は、アーサー・フレデリック・シェルドンについてお話をさせていただきました。

(3) ゲストの紹介

・第16回ライラ研修生 NTT東日本一関信越新潟支店 後藤宏幸さん

・新潟青山法律事務所 渡辺彩香さん

(4) 次年度地区役員委嘱状伝達

- ・務台 昭彦君 クラブ奉仕委員会 広報・公共イメージ向上委員
- ・山田 隆一君 職業奉仕委員長
- ・得永 哲史君 R財団委員会、資金管理委員長、奨学金・VTT委員
- ・高橋 秀樹君 ロータリー財団委員会学友会委員長
- ・宇尾野 隆君 米山記念奨学委員長
- ・樋熊 紀雄君 危機管理委員

(5) 委員会報告

- ・塚田 正幸ライラ委員長よりライラ報告
後藤宏幸さんへライラ修了証書の伝達
後藤宏幸さんより ライラ参加報告

- ・佐藤 紳一青少年交換委員長より一年交換プログラム、夏期交換プログラムについてアンケートのお願い

(6) 各種ご寄付の発表

- 青少年育成基金寄付発表(五十嵐幸雄委員)
塚田 正幸君 白勢 仁士君
樋熊 紀雄君

(7) ニコニコボックス紹介(堀 盛富委員長)

・本日は、会員スピーチの機会を与えていただき、ありがとうございます。ご指名を受けましたので精一杯務めますが、何年か前にも一度、法律の話をしたところ、多くの方が眠りに落ちてしまい、あまり受けもしませんでしたので、今回も期待しないでください。前回との違いは、アシスタントに同行してもらったという点です。本日は、私たちの法律事務所勤務している渡辺彩香さんを同行しました。渡辺さんは、現在、女子サッカー「なでしこリーグ」1部のアルビレックス新潟レディスの現役サッカー選手です。2015年までは、INAC(アイナック)神戸に所属し、2015年から新潟レディスに移籍してきました。ポジションは左のサイドバックで、過去に「なでしこジャパン」に召集された経歴もあります。女子サッカー選手の多くは、昼間は社会人として働き、夜間や休日にサッカーをするというスタイルです。渡辺さんは、縁あって、2015年から、私達の法律事務所で働いています。ちなみに独身です。後程、会員スピーチの中で、少しでもお時間を頂戴して、皆様にご挨拶をさせていただきたいと思います。本日はどうぞよろしくお願いいたします。

(8) 幹事報告(内田 直紀幹事)

- ・糸魚川大火災義捐金送金額の報告

社会事業基金から10万円支出し、皆様よりお預かりした118,600円を併せて218,600円を本日、田中ガバナース事務局へ送金致します。

- ・三条ロータリークラブより創立60周年式典ご案内がありました。4月15日(土)12時登録午後3時終了 於 三条市ジオ・ワールド、登録料は15,000円。登録希望の方は2月10日までに事務局へお申込み願います。

(9) 会員スピーチ

「アクティブシニアのための法律知識

ー自己決定権の尊重ー

新潟青山法律事務所 代表弁護士 若槻 良宏君

(10) 1月31日例会の出席率 80.65 %

会員数 99名(出席免除会員 8名)

出席者75名(出席免除会員2名を含む)

(2週間前メーク後 91.40 %)

2月14日の例会予定

卓話「アフリカの保健医療活動から学んだ

平和と紛争予防の大切さ(仮題)」

新潟医療福祉大学 看護学科 講師 金子 佳世氏

新潟ロータリークラブホームページアドレス

<http://www.niigatarc.jp/>